



た ひと よろこ 他の 人と いっしょに 喜んであげる

おもちゃをもらったり、^{あた}新しい
ことができるのは、わくわくする
ものだ。だけど、^{きみ}君が ^ほ欲しかった
ものを ^{とも}友だちや ^{きょうだい}兄弟が もらうのを
みると、がっかりする ことも
あるね。だれかが ^{なに}何かを もらうのを
みて ^{よろこ}喜ぶのは むずかしい ことも
あるけれど、そう になれるのは、
^{せいちょう}成長の しるしなんだ。^{きみ}君が その
^{めん}面で ^{せいちょう}成長するのを見ると、わたしは
うれしい。

^{きみ}君が プレゼントや ^{しょうひん}賞品を
もらったり、たん生日を ^{いわ}祝って
もらう ことだって、あるだろう。
プレゼントを もらうのが ^{きみ}君の
^{ばん}番の ^{とき}時は うれしいだろうけれど、
それが ^{とも}友だちや ^{きょうだい}兄弟の ^{ばん}番の
^{とき}時でも、うれしく ^{おも}思い、^{よろこ}喜んで
あげられるように なるのは、
^{たいせつ}大切な ことだよ。





かんしゃ きも
感謝の 気持ちとは、
いま
今ある ものを ありがたく
おも ほう
思うこと。欲しい ものが
ほか
他に あったとしても、
いま しゆくふく おも だ
今 ある 祝福を 思い出して
かんしゃ
感謝しているなら、それが、
きみ よろこ たの
君に 喜びや 楽しみを
もたらしてくれる。
わたしが よろこ まんぞくかん
わたしが 喜びや 満足感で
み こころ
満たせる 心とは、そういう
かんしゃ み こころ
感謝に 満ちた 心なんだ。

ほか ひと なに
他の 人が 何か もらって よろこ
喜んでいる 時は、たとえ その時に きみ しん なに
とき とき
君自身は 何も もらわなくても、
いっしょに よろこ
喜んであげよう。そのうち、きみ ばん まわ く
君の 番も 回ってくるからね。